

明大スポーツ 第100回インカレ特別号 8月28日水曜日 令和6年(2024年) 千代田区神田駿河台1-1 WEBはこちらから

100回の歴史背負い 築け令和の“明治時代”

初代王者 連覇 達成へ

“これまでの積み重ねをすべて出し切る舞台、

部員たちが選ぶ 注目選手 pick up!

狙うは史上初 決勝進出



柳川

五味

田淵

廣島

第100回日本学生選手権 (東京アクアティクスセンター) ◆競泳 9-5-8 ◆水球 8-23~31

競泳男子

6年ぶり連覇へ視界良好 黄金世代筆頭に史上最高500点超えの伝説へ

競泳部男子部員たち、6年ぶりとなる連覇を目前に控えている。今年、史上最高となる500点を超えるという伝説への挑戦だ。黄金世代の筆頭に、柳川、五味、田淵、廣島らが活躍を期待されている。

注目選手 pick up!

簡井 符登 (山梨県立中央大学) 1年次

努力の天才・簡井 (仮3)。毎日の練習、トレーニングに並ぶ真摯な打ち込み。そのスタイルは部内でもお馴染み。常に自身の強と戦っている。田中と評されるように、誰よりも自分に厳しく、厳しく励んでいる。そんな彼の試合での注目ポイント。チームの泳いで、試合のチェンジャーカービー、勝利を手にし喜びを分かち合っている。

水球

林 越智 (明治大学) 3年次

個性と結束力、灼熱の生田で鍛え上げた夏——

注目選手 pick up!

濱口 颯太郎 (明治大学) 2年次

期待のルーキー濱口 (仮1)。相手の意表を突いたドライブとホスピタリティを得意とする。高校時代にはキャプテンを務めた経験がある。練習中は「チームの雰囲気を作りたい」というような声掛けを意欲。体格やパワー差のある相手にも臆さず、リーグ戦では得点源として活躍を見せた。仲間から受けたパスを力強いシュートでゴールにたたき込み、フレッシュなプレーに注目だ。

◆水球部門 インカレ過去5年の成績◆

大会	結果	戦績
19年/第95回	1回戦敗退	1回戦 (vs専大) : ●9 - 10
20年/第96回	1回戦敗退	1回戦 (vs早大) : ●9 - 11
21年/第97回	1回戦敗退	1回戦 (vs京大) : ●14 - 16
22年/第98回	3位	1回戦 (vs新潟大) : ○13 - 12 2回戦 (vs筑波大) : ●8 - 14 3位決定戦 (vs日大) : ○13 - 11
23年/第99回	ベスト8	1回戦 (vs成大) : ○9 - 12 2回戦 (vs中大) : ●14 - 9

競泳部門

ムードメーカーは？
1位 田淵博斗 (明大) 2年次

一番の努力家は？
1位 田淵博斗 (明大) 2年次

選手42人に聞いた!!

チームの強みは？
1位 田淵博斗 (明大) 2年次

チームの弱みは？
1位 田淵博斗 (明大) 2年次

◆競泳部門 男子注目選手◆

学年	名前 (学部)	出身高校	種目	自己ベスト
★黄金世代 (理工)	田淵博斗 (理工)	日大藤沢	100m自由形	53秒36
	五味信之 (理工)	湘南工科大付	100m自由形	48秒68
	柳川大樹 (理工)	日大藤沢	400m個人メドレー	3分49秒12
	廣島信孝 (政経)	淑徳巣鴨	200m個人メドレー	2分09秒28
4	田淵博斗 (理工)	日大藤沢	400m個人メドレー	4分11秒15
	廣島信孝 (政経)	淑徳巣鴨	200m個人メドレー	2分09秒28
	柳川大樹 (政経)	日大藤沢	100m背泳ぎ	53秒86
	清水博斗 (理工)	朝光学園	100m背泳ぎ	1分09秒66
3	田淵博斗 (理工)	日大藤沢	200m自由形	1分48秒14
	龍野直樹 (商)	埼玉栄	1500m自由形	15分26秒14
	上川畑英 (政経)	朝光学園	200mバタフライ	1分56秒70
	成嶋義徳 (政経)	八王子	400m個人メドレー	4分12秒74
2	成嶋義徳 (政経)	八王子	100mバタフライ	52秒13
	川野博大 (商)	武蔵	200mバタフライ	1分57秒92
	西村優輝 (理工)	湘南工科大付	100m背泳ぎ	55秒17

田淵 3年ぶり個人金へ

2021年インカレ、400m個人メドレーで初の個人金メダルを獲得。2023年インカレ、400m個人メドレーで再び個人金メダルを獲得。今年、史上最高となる500点を超えるという伝説への挑戦だ。

強豪・明大の復活劇

1993年に初代王者となった。その後、1995年から1997年にかけて3連覇を達成。2023年には史上最高となる500点を超えるという伝説への挑戦だ。

競泳部門

チームの強みは？
1位 田淵博斗 (明大) 2年次

チームの弱みは？
1位 田淵博斗 (明大) 2年次

少数精鋭

4人でシード権確保へ

競泳部女子部員たち、4人でシード権確保を達成。今年、史上最高となる500点を超えるという伝説への挑戦だ。